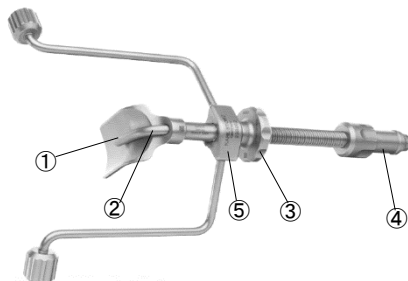


機械器具 52 医療用拡張器
一般医療機器 拡張器 11254000

AL HAGR レトラクター

【形状・構造及び原理等】

※代表的なタイプを下記に示す。



＜各部の名称、機能及び動作＞

番号	名 称	機能及び動作
①	レトラクターブレード※	開口部を固定する
②	ファイバースコープ※	管腔を通してレトラクター先端部を照明する
③	固定ホイール	レトラクターブレード①をレトラクターアーム⑤に固定する
④	ライトポート	ライトケーブル（本申請外）と接続する
⑤	レトラクターアーム※	レトラクターブレード①を固定する

※血液・体液・粘膜等に直接あるいは間接的に接触する部分

＜原材料＞

- ①ステンレス鋼、シリコン
- ②ステンレス鋼、ガラス光ファイバー
- ⑤ステンレス鋼

【使用目的又は効果】

本品は、開口部、管又は血管などの内径（口径）を拡大するために用いる手術器具をいう。皮膚や組織、軟骨の保持および把持することで、手術部位や検査部位を広げ、照明を当てるために使用する。

【使用方法等】

1. 本品は未滅菌品のため、使用前に必ず所定の方法で洗浄・消毒および滅菌を行う。
2. レトラクターアーム⑤の開口部にレトラクターブレード①を挿入する。



3. レトラクターブレード①とレトラクターアーム⑤を組み立てた後、レトラクターブレード①に固定ホイール③を左右対称になるようにねじ入れる。固定ホイール③は左右対称であるため、どちらからでもレトラクターブレード①をねじ入れることができる。レトラクターアーム⑤が固定されるまで、固定ホイール③をレトラクターブレード①にねじ入れる。



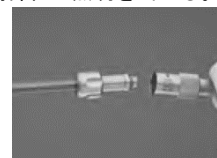
4. ライトポート④をレトラクターブレード①にねじ入れる。



5. ファイバースコープ②をレトラクターブレード①の管腔に挿入する。



6. ライトケーブル（本申請外）をレトラクターのライトポート④に接続し、手術部位に照明を当てる。



【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. 器具先端部、ライトポート、隣接した構成品は火傷をする恐れがあるため、皮膚等に直接触れないよう注意すること。
2. 組織・粘膜を傷つける恐れがあるため、挿入部に傷、めくれ等がなく、滑らかであることを必ず確認すること。
3. 破損等の原因となるため、本品を超音波洗浄器にかけないこと。
4. 滅菌は常に同一の方法で行うこと。異なる滅菌方法を実施すると、構造成材に負担をかけ本品の劣化・破損を招き、故障につながる恐れがある。
5. 破損、曲がりの原因になり得るので使用時に必要以上の力を加えないこと。
6. 使用後は、付着している血液、体液、組織液及び薬品等が乾燥しないように、直ちに洗浄液等に浸漬すること。
7. 塩素系及びヨウ素系の消毒剤は腐食の原因になるので、できるだけ使用を避けること。使用中に付着した時には水洗いすること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管にあたっては、洗浄をした後、腐食を防ぐために保管期間の長短に係わらず必ず乾燥すること。
2. 滅菌済のものを保管するにあたっては、再感染を防止するために清潔な場所に保管するとともに、有効保管期間の管理をすること。

【保守・点検に係る事項】

1. しばらく使用しなかった後、再使用する時は、使用前に必ず本品が正常かつ安全に作動することを確認すること。
2. 使用前に動作及び外観に異常がないことを確認すること。（特に体内に入る部分及び可動部分については入念に確認すること。）
3. 使用後は、速やかに血液、体液、組織等の汚物を除去し、洗浄すること。
4. 金属たわし、クレンザー（磨き粉）等は、器具の表面が破損するので汚染物除去及び洗浄時に使用しないこと。
5. 付着物は修復不能な破損の原因になるので、器具は使用後、速やかに洗浄の準備をすること。

6. 洗浄方法

(1) 自動洗浄器

- ① 内視鏡のプログラムが設定されている自動器具洗浄器を使用し、管腔を有する器具は専用洗浄チューブを接続して使用すること。
- ② 適切なラックを使用し、他の器具と重なり合わないように入れること。(他の器具と重なり合うことにより損傷の原因となり、また、重なっている部分で洗浄効果が減衰する。)
- ③ 器具の接続部を開放し、分解してラックに入れること。
- ④ 洗浄剤や水質によっても製品にダメージを与える場合があり、器具に変質等が生じた場合、直ちに自動洗浄器の使用を中止し、洗浄剤、水質の確認を行うこと。

(2) マニュアル洗浄

- ① 洗浄剤及び化学消毒剤を使ってブラッシング及び浸漬等により手洗い洗浄を行う。
- ② 感染のリスクを防止するため、手洗い洗浄時には手袋・防水エプロン・ゴーグル等を必ず使用すること。
- ③ 管腔内を洗浄するため適切なブラシを準備すること。
- ④ 洗浄、浸漬用にフタ付きで水きり用の内かごが付いている容器を準備すること。
- ⑤ 洗浄手順
 1. 器具の接続部をすべて分解する。
 2. 専用容器に準備した洗浄溶液に器具を浸漬する。
水温は 43℃前後(暖かいと感じる温度)が適温である。
薬剤による器具の損傷の可能性がある為、溶液には 60 分以上浸漬したままにしないこと。
 3. スポンジで全ての外表面を注意深く清掃する。
 4. 管腔内は適切なブラシを用いて洗浄する。
 5. 純水で時間をかけて十分な濯ぎを行う。
 6. ホコリの出ないやわらかい布や圧縮空気で乾燥させる。

7. 洗浄後の器具の点検とお手入れ

- (1) 外観の目視(特に体内に入る部分は入念に)確認、可動部の機能確認を行うこと。
- (2) すべての可動部分には、滅菌による熱損傷を防止する為、専用のオイルを必ず塗布すること。滅菌手順に適した潤滑油(シリコーンフリー、パラフィン系またはホワイトオイル系)を使用すること。

8. 洗浄剤

- (1) アルカリ性、酸性洗浄剤又は化学消毒剤で洗浄する場合には、洗浄剤又は消毒剤の残留物が残らないように純水にて十分に濯ぎを行うこと。

9. 使用前に必ず下記の方法で滅菌又は消毒を行うこと。

注：滅菌前に器具を洗浄し、良く乾燥してから滅菌を行うこと。

(1) オートクレーブ滅菌方法

本品を専用滅菌ケース又はトレーに収納し、滅菌包材で包んだ上、オートクレーブ滅菌を行う。

＜滅菌条件＞

- ・温度 : 134~137℃
- ・時間 : 4~18 分間

※真空式高圧蒸気滅菌(pre-high vacuum)方式のオートクレーブを推奨する。

※オートクレーブ滅菌を行う際に金属容器を使用している場合は、本品と金属部を直接触れないよう注意すること。

(2) 薬液消毒方法

容器を 2 個用意し、一方には薬液を他方には滅菌水を入れる。薬液に 30 分浸した後、本品を滅菌水に移し、約 5 分間浸す。

＜消毒条件＞

- ・使用薬液 : 2%グルタルアルデヒド

※薬液消毒の場合、必ず、薬剤製造業者の指示に従うこと。

また、本品を 60 分以上液体に浸漬させたままにしないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：カールストルツ・エンドスコープ・ジャパン株式会社
TEL：03-6380-8622

製造業者：KARL STORZ SE & Co. KG (カールストルツ社)
国名：Germany

添付文書番号：KSTJ - N470